

製品安全データシート  
グレード名

SAK-NAS-P

作成日： 2014年10月01日  
改定日： 2020年10月21日

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名： ステアリン酸ナトリウム (Sodium Stearate)  
会社名： 株式会社サンエース  
住所： 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津4058  
電話番号： 046-285-0826  
緊急時の電話番号： 046-285-0826  
FAX番号： 046-286-7177  
推奨用途及び使用上の制限： 添加剤、界面活性剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性： 分類できない  
健康に対する有害性： 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A  
環境に対する有害性： 水生環境有害性 (急性) 区分2  
水生環境有害性 (長期間) 区分3

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：  
危険有害性情報：

警告  
強い目刺激  
水生生物に毒性  
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き  
安全対策：

取扱い後は顔、手等をよく洗うこと。  
防塵マスク/保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
環境への放出を避けること。

応急処置：

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。  
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

廃棄：  
他の危険有害性：

内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。  
-

## 3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別： 工業的単一  
化学名又は一般名： ステアリン酸ナトリウム  
脂肪酸ナトリウム塩  
化学式：  $C_{18}H_{35}NaO_2$   
CAS番号： 822-16-2, 68424-38-4  
官報公示整理番号 (2)-611/(7)-973

## 4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合： 水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。  
。気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、  
医師の診断、手当てを受けること。  
飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
予想される急性症状及び遅発性 皮膚に付着した場合：かぶれ、ただれ、発赤  
飲み込んだ場合：吐き気、嘔吐、下痢  
最も重要な兆候及び症状： 情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤： 火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。  
使ってはならない消火剤： 情報なし  
特有の危険有害性： 加熱により発火する。  
特有の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。保護具を着用し風上から消火に当たる。  
消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。関係者以外の立ち入りを禁止する。密閉された場所は換気する。  
環境に対する注意事項： 環境中に放出してはならない。河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。  
回収、中和： 少量の乾燥した漏れの場合、漏洩物は清潔なシャベルを用いて、清潔な乾燥した容器に入れ、ゆるく覆いをして漏洩場所から移す。大量の場合、水で湿らせ、防

封じ込め及び浄化の方法・機材： 護囲いをし、後で廃棄処理する。  
 二次災害の防止策： 危険でなければ漏れを止める。  
 すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止  
 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策：

局所排気・全体換気：

安全取扱い注意事項：

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

### 火気注意

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

粉じんの吸入を避けること。

眼に入れないこと。

皮膚との接触を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

「10. 安定性及び反応性」を参照。

接触回避：

保管

技術的対策：

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触危険物質：

保管条件：

「10. 安定性及び反応性」を参照。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙

酸化剤から離して保管する。

冷所、換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉して保管すること。

施錠して保管すること。

容器包装材料：

包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：

日本産業衛生学会

ACGIH

設備対策：

設定されていない

吸入性粉塵 2mg/m<sup>3</sup> （その他の無機及び有機粉塵）

総粉塵 8mg/m<sup>3</sup> （その他の無機及び有機粉塵）

TLV-TWA

-

本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。

空気中の濃度を制御するため、適正な換気装置を使用する。

保護具

呼吸器の保護具：

手の保護具：

眼の保護具：

皮膚及び身体の保護具：

衛生対策：

適切な保護マスクを使用する。

適切な手袋を着用すること。

適切な眼の保護具を着用すること。

適切な保護衣を着用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：

臭い：

pH：

融点・凝固点：

沸点、初留点及び沸騰範囲：

引火点：

爆発範囲：

蒸気圧：

蒸気密度（空気=1）：

見掛比重（密度）：

溶解度：

オクタノール/水分分配係数：

自然発火温度：

分解温度：

粘度：

固体（白色粉末）

データなし

データなし

200℃ 以上

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性：

危険有害反応可能性：

避けるべき条件：

混触危険物質：

危険有害な分解生成物：

通常温度、圧力下では安定である。加熱により発火する。  
 乾燥状態では、攪拌、空気輸送、注入などにより静電気を帯びることがある。

塩基、酸化剤、還元剤と反応する。

高温にしない。粉塵と火種の接触を避けること。粉塵爆発の恐れあり。

情報なし

一酸化炭素、二酸化炭素

## 11. 有害性情報

急性毒性：経口

経皮

吸入：ガス

吸入：蒸気

吸入：粉塵、ミスト

皮膚腐食性・刺激性：

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：

データがなく分類できない

データがなく分類できない

GHSの定義による固体である。

データがなく分類できない。

データがなく分類できない。

データがなく分類できない。

ウサギの試験で、一過性の軽度な結膜充血および角膜上皮の光学的不規則性が見

呼吸器感作性：	られ、中等度の刺激性を示すとの記載（HSDB（2005））に基づき、区分2Aとした
皮膚感作性：	データがなく分類できない
生殖細胞変異原性：	データがなく分類できない
発がん性：	データがなく分類できない
生殖毒性：	データがなく分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：	情報不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：	データがなく分類できない
吸引性呼吸器有害性：	データがなく分類できない

## 1 2. 環境影響情報

水生環境急性有害性：	甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50 = 19 mg/L（環境庁生態影響試験，2000）から、本物質の水溶解度（3.322mg/L（PHYSPROP Database，2009））において当該毒性が発現した可能性が否定できないため、区分2とした。
水生環境慢性有害性：	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり（BODによる分解度：83%（既存点検，1994））、甲殻類（オオミジンコ）の21日間NOEC = 0.48 mg/L（環境庁生態影響試験，2000）であることから、区分3となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性があり（BODによる分解度：83%（既存点検，1994））、魚類（メダカ）の96時間LC50 >100 mg/L（環境庁生態影響試験，2000）より、区分外となる。以上の結果を比較し、区分3とした。
オゾン層への有害性：	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 1 3. 廃棄上の注意：

残余廃棄物：	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。水溶液は強アルカリ性を示すため、酸で中和した後処理すること。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 1 4. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報：	非該当
海上規制情報：	非危険物
航空規制情報：	非危険物
特別の安全対策：	輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法：	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 ステアリン酸ナトリウム 90-100%
化学物質排出把握管理促進法	該当しない
毒物及び劇物取締法：	該当しない
水質汚濁防止法：	該当しない
大気汚染防止法：	該当しない
土壌汚染防止法：	該当しない
船舶安全法：	該当しない
航空法：	該当しない

## 1 6. その他の情報

記載内容の取り扱い	記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づいて、当該製品の取り扱い使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩の処理等を安全に行なうために行なうために作成されたものであり、情報はいかなる保証をするものではありません。また注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用ください。
-----------	---

参考文献	1) 厚生労働省 職場の安全サイト モデルSDS 2) NITE 化学物質総合情報提供システム 3) NITE 政府によるGHS分類（2017年10月更新分） 4) 日本産業衛生学会 許容濃度の勧告 2019年版 5) United States Department of Labor : Occupational Safety and Health Administration 6) 原料メーカーSDS 7) LOLI Desktop
------	--